

あばしり

第 37 号

平成16年11月

市議会だより

発行／網走市議会

編集／市議会だより編集委員会

目次	p 1	フォトジャーナル（議会活動から）
	p 2～3	9月定例会のトピックス
	p 4～5	一般質問から
	p 6	一般質問から



photo journal

また、同委員会は十月八日前浜の漁獲状況を中心に秋季調査を行いました。豊漁が予想されていたマスは漁獲、金額とも不調で九月八日に終了しましたが、ホタテガイ、サケは、豊漁であった昨年の水準を維持しており高値で推移しています。

農作物の作況は、てん菜、馬鈴薯等の基幹作物を中心に調査しました。今年春先から天候に恵まれ、麦類の収穫もかつてない短期間で終了し、豊作であった昨年同様の作柄が見込まれ、今後収穫が行われる全ての作物で平年より九日前後早い生育状況であり、このまま推移すると三年連続の豊作が期待できる状況にあります。しかし、台風十八号により野菜と農業施設合わせて約一億六千万円の被害を被りましたが、基幹三作物は豊作基調で推移しています。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

経済建設委員会は、去る八月四日、農作物の作況調査と明治能取線橋梁工事などの施設等の調査を実施しました。

フォトジャーナル 経済建設委員会の作況と秋季調査

9月定例会のトピックス

指定管理者の指定手続に関する 条例を可決

地方自治法の改正により、公の施設の管理について、管理委託制度が廃止され、代わって指定管理者制度が創設されました。この制度を導入するに当たって、指定管理者の指定及び管理の基準、業務の範囲、その他必要な事項を定めた手続条例の制定と、指定管理者に施設の管理をさせる各施設の条例の改正が必要になります。九月議会ではこれら条例案が提案されました。



能力開発センター

●制度創設による期待
指定管理者制度を導入することにより、施設の適正管理のほかに、民間事業者の発想と専門的なノウハウの活用によって、利用者満足度の向上と利用拡大につながり、経営努力による管理経費の節減になることが期待されております。

●今回提案された施設
現在、網走市の所有する施設は百五十六施設あり、うち百三十二施設が直営で、二十四施設が管理委託をしております。今回の提案されたものは、既に管理委託を実施している施設のうち各コミセンや市民プール、能力開発センターなど十八施設であります。提案された条例案は、本会議で各委員会に付託され、その内、手続条例は、直ちに総務文教委員会で審議されました。

●手続条例は可決
施設条例は継続審査
市の説明としては、今回の改正は、現在既に管理委託制度により、委託をしている施設の指定管理者制度への制度移行であり、今後一年かけてその他各施設に制度導入が出来るかどうかの判断をするという内容でありました。

委員からは、手続条例の段階から、指定する期間を定め緊張感を持った経営を、管理者として指定をする事業者の条件等を明確にすべき等、多数の意見が出されました。しかしこれら意見は各施設ごとに条件が違々と理事者が答弁。このため、会派代表者会議が開催され、個別審議のためには、調査の時間が必要等の判断から、手続条例を9月議会で可決、各施設条例の改正案は、各常任委員会

において閉会中慎重審査をすることになりました。

潮見コミセン



網走刑務所の大曲湖畔農場買取りに向けた準備本格化

網走国定公園の中心に位置し網走湖に隣接する「網走刑務所湖畔農場」は、網走湖と網走川に囲まれ、天然樹林帯や川が織りなす河畔風景や、名勝天都山から眼下に広がる田園風景は、北欧を思わせる眺望として高い評価を受けています。この優れた環境の農場用地を、当市の二十一世

9月定例会のトピックス

平成16年第3回定例会(9/14～22)

議決結果(抜粋)

○議案

平成16年度網走市一般会計補正予算	原案可決
平成16年度網走市介護保険特別会計補正予算	同
平成16年度網走市水道事業会計補正予算	同
網走市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例制定について	同
網走市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について	閉会中継 続審査
網走市地区福祉会館条例の一部を改正する条例制定について	同
網走市能力開発センター条例の一部を改正する条例制定について	同
網走市鉄道記念館条例の一部を改正する条例制定について	同
網走市農村環境改善センター条例制定について	同
網走市農村地域総合研修施設条例制定について	同
網走市麦類乾燥調製貯蔵施設条例の一部を改正する条例制定について	同
網走市下水道条例の一部を改正する条例制定について	同
網走市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	同
網走市民プール条例制定について	同
網走市地域プール条例制定について	同
財産の処分について	原案可決
網走市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について	同
網走市教育委員の任命について	同意決定

○意見書案

日本郵政公社の現行経営形態の堅持に関する意見書提出について	原案可決
地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書提出について	同
年金制度の確立を求める意見書提出について	同
道路整備に関する意見書提出について	同
建設・季節労働者の仕事と生活を守る特別対策に関する意見書提出について	同

紀の新たなまちづくりを進めるうえで貴重な空間と考え、この豊かな現況を生かしながら自然と共生を図り、市民の憩いの場として、また、地域の振興発展を展望した魅力的な場を形成するため市はこれまで法務省・網走刑務所に対し同農場用地の譲渡を要請してきました。

こうした中、法務省との協議において平成十七年度に同農場用地を取得できる見通しとなったことから、今回、取得用地の正確な面積を把握するための「用地確定測量」に二百二十五万五千円、並びに利用方法について検討するための大曲湖畔農場利用検討委員会を設置し、「利用基本計画」を策定するために二百万円を今年度一般会計(観光振

興費)の補正予算として計上したい旨、議案として提出され、経済建設委員会に付託・審査のうえ委員全員の一致により可決、本会議に報告されました。

しかし、共産党議員団より、基本的な問題である用地の地目別の面積が確定していないこと。また、取得しようとする土地の価格も全くわからない中で、「利用基本計画を策定する」というのは、市民の理解が到底得られないとして、反対討論がなされましたが、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。



網走刑務所の大曲湖畔農場